

-----7月15日-----

※ 今週のアウトルック (7/15~7/18)

先週は予想に反し、円高が進みました。

ポンド円や、豪ドル円など、好調さが目立った通貨ペアでさえ、円高反転、あるいは今後しばらく円高へ向かうサインが出ているものが多くなってきています。

今週はこの傾向が一時的なものなのか、それとも通貨取引を中心とした、本格的なリスクオフサインの始まりなのか、を見極める上で重要な週となりそうです。

先週のドル円は、金利引き上げ時期の不透明感などから、円高が進みました。

もし、今週101円を割り込んでしまうようなことがあれば、長らく続いていた、101円から104円付近までのレンジから、円高トレンドに転じる可能性も出てくるように思います。

ただ、可能性としてはまだ、101円付近に留まる可能性が幾分高いように思います。

米ドル円の予想レンジは100.5円から102円です。

ユーロは、ユーロドルはなんとか、1.36付近で小康状態を保っているものの、テクニカル的には、ユーロドル、ユーロ円ともに下落を示唆するものが、多くなってきているように思います。

今週が今後のトレンドを占う上で、正念場と言えるかもしれません。

ユーロ円の予想レンジは135円から139円です。

ポンド円は、一時的に調整しています。

今週、再び上昇に転じることができれば、すんなり上昇トレンド再開となりそうですが、もう一段の下落があった場合は、調整が長期化しそうです。

ポンド円の予想レンジは172.5円から175円です。

今週は調整から上昇トレンド再開となるのか、それとも調整が長期化してしまうのか、大きな分かれ目となる週となりそうです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。